

裁判员等経験者による意見交換会開催概要

日時: 令和4年7月8日午後2時～午後4時

参加者: 裁判员等経験者6人、裁判官2人、検察官1人、弁護士1人

傍聴人: 法曹関係者1人



さいニャン

貴重な御意見をいただき、ありがとうございました。

裁判员裁判に参加した全般的な感想

周りの方々と意見交換することによって自身の固定観念が緩和されました。また、いろいろな意見を聞くことでとても勉強になりました。

刑罰を決めるのが難しかった印象ですが、裁判官から量刑の基本的な考え方を分かりやすく説明していただき、いい経験になったと思います。

裁判员それぞれの意見が活発に出て、非常に議論が深まりました。ただ、最後に判決を下すときには、すごく難しかったという印象です。

コロナ禍における裁判员裁判について

裁判所の感染対策は十分だったと思います。

感染対策のこともあり、裁判员同士であまり雑談がなかったので、仲が深まりにくかったと思いました。

マスクを常時着用していましたが、評議では活発に意見が交わされ、特段不自由は感じませんでした。マスクやパーテーションがあることで、むしろ安心感がありました。

選任手続・審理・評議における感想や意見



〈選任手続について〉

選任手続から公判審理開始まで、1週間あり、その間に仕事の関係や心の調整をつけることができました。選任手続の直後に審理が始まると、参加が難しいのではないかと思います。

日程や事件の概要などをその場で説明されたので、こういう感じで進めるのかということが頭に入りました。

〈審理について〉

公判期日が3日連続だったので、もう少し余裕のある審理日程を組んでほしかった。

冒頭陳述や論告・弁論は、一覧表に上手くまとまっていたので、ボリュームはあったけれど大変わかりやすかった。

証拠書類の取調べは、モニターもあって、丁寧な資料をいただいたので、わかりやすかった。

犯行に使われた物と同等の品を実際に触ってみるなどすることで、イメージが湧いたので、よかった。

古い事件だったこともあり、被告人と証人の証言が噛み合わない部分が多々あって、難しいと感じました。

後に引きずるような遺体写真等の刺激証拠は見えていないので、配慮していただいていたのかもしれませんが。

〈評議について〉

評議は十分にできたと思いますが、量刑を決めるのは非常に難しかったです。

評議の時間は少し短いような気がしました。もう少し時間をかけて審議したかった。



これから裁判員になられる方へのメッセージ



実際に裁判員をやってみて、裁判はこういう風にやっているのかということを知ることができました。いい経験だったので、機会があればぜひ参加していただきたいと思います。

私自身は、感情移入してしまうところがあったので、今後裁判員になる人には、感情移入せず冷静に判断してほしいと思います。

候補者に選ばれても、仕事の都合や家庭の事情がある方もいらっしゃると思いますが、都合がつくのであれば、ぜひ経験してほしいです。事件の内容も評議もそうですし、量刑を決めることも、人の人生を左右することなので、それを体験できたというのは、いい経験だったと思います。

すごく悩んで、難しいと思いつつながら判決を出しました。このような裁判員の制度によって、私たち国民の声が届いていると思いますので、忙しい方もいらっしゃると思いますが、そういう方こそぜひ参加していただきたい。

神戸地方裁判所総務課広報係
神戸市中央区橋通2丁目2-1
078-367-1020

